

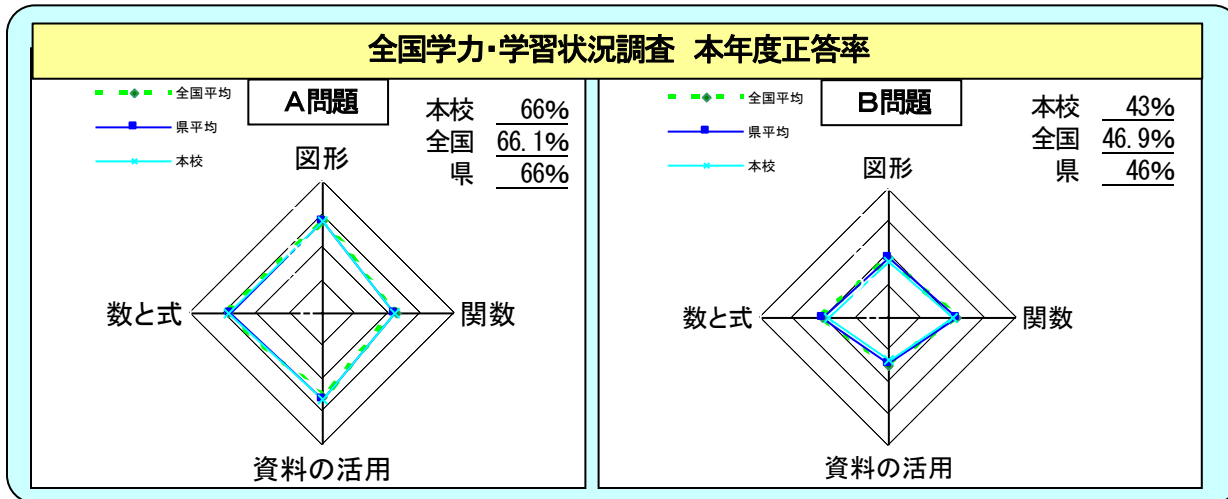
重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)
<p>【課題1】 書いた文章を読み返し、伝えたい内容が十分に表されているかを検討できる。(設問 A4一) (広島県正答率 61.2%全国正答率 62.8%) 意見文の下書きに一文書き加える意図として適切なものを選択できなかった生徒が 41.8%いた。</p> <p>【課題2】 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができる。(設問 B1三) (広島県正答率 14.1%全国正答率 13.3%) 「天地無用」という言葉をなぜ誤った意味で解釈してしまうのか考えられなかった生徒 54.4%。うち、10.7%が無解答。</p>	<p>【課題1】 小グループでの推敲を利用し、自身の書いた文章が相手に伝わる表現になっているか検討する場を意図的に設定する。相互推敲を通して相手に伝わる表現を選択できる力をつけていく。</p> <p>【課題2】 「読むこと」の領域では、論の展開を捉えて読む指導を徹底し、複数の資料や文章から必要な情報を抜き出し、自分の考えをまとめたりするなどの活動を「単元を貫く言語活動」として設定する。</p> <p>※ 小中一貫した取組では、目的に応じて複数の資料を読み取ったり、根拠を明確にし、自分の考えを書いたりする指導に重点を置く。</p>

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生・中間試験		3年生・「H30 全国学力」			
目標値		60%		70%			
実施後数値		64.7%		72.2%			

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生・中間試験		3年生・「H30 全国学力」			
目標値		60%		65%			
実施後数値		56.2%		68.7%			

来年度に向けて

小グループで推敲することにより、相手意識を持って文章を書く生徒が増えてきた。来年度も引き続き、目的に応じて複数の資料を読み取り、自分の考えを書くことを単元のまとめで設定したり、定期試験で出題したりし、根拠を明確に書くことを継続的に指導していく。



重点課題	重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)
<p>【課題1】 確率の概念が理解できていない。 問題番号 A15(1) 通過率 26.2% 県 39.0% 全国 40.2%</p> <p>【課題2】 割合の求め方や、パーセントの数値の求め方の理解ができていないのと同時に、通過率の低い問題での無解答率が高い。 問題番号 B5(1) 通過率 13.7% 県 12.9% 全国 16.0% 無解答率 29.4% 県 20.5% 全国 24.1%</p>	<p>【課題1】 答の求め方を身につけさせる以前に、その答が何を意味しているのか、なぜ、その求め方で良いのかといった基本的な概念や考え方を理解させることに力を入れる。</p> <p>【課題2】 日常的な題材を用いることにより、歩合や百分率の概念を定着させるとともに、日々の授業の中から、正解を導くことよりも、まず自ら考え、自分なりの答を出すことの重要性を説き、ノート発言も含め、いろいろな形で自らの考えを発表する機会を多くとる。</p> <p>※ 小中一貫した取組では、根拠の理由を明らかにして説明する機会を増やす。</p>

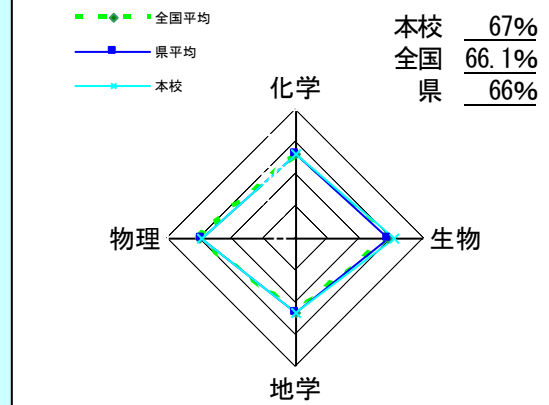
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験		3年生 期末試験	3年生 学年末試験		
目標値		30%		35%	40%		
実施後数値		27%		61%	47%		

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		3年生 中間試験		3年生 期末試験	3年生 学年末試験		
目標値		15%		18%	20%		
実施後数値		52%		30%	35%		

来年度に向けて

解き方を身につけさせる以前に、なぜ、その解き方でよいのか、考え方や根拠を明らかにして説明する機会を増やす。
そのために、ノート発言やグループ活動などで、表現する機会を増やしていく。

全国学力・学習状況調査 本年度正答率



重点課題

【課題1】

テレプロンプターのモデルの光の道筋を検討して改善し、適切な光の道筋を説明できることに課題がある。

(設問 1 (2) 通過率 68.6% 県 73.7%)

【課題2】

条件制御の知識・技能を活用して、要因が複数あると考えられる自然の事物・現象の実験を検討して改善し、1つの要因を変えるとその他にも変わる可能性のある要因を指摘することに課題がある。

(設問 2 (4) 通過率 55.9% 県 59.8%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

探求する学習活動の中で、自分の考えを、対話を通して生徒自身が検討して改善できるように、助言や問い返しを積極的に行う。また、考察の場面における話し合いでは、「予想や仮説と結果が一致しているかどうか」という視点や課題に正対した考察になっているかなどの視点を明示しながら行わせていく。

【課題2】

観察や実験をする際には、ただ観察や実験をさせるだけではなく、目的意識をもって実験計画を立案させる場面を設定する。また、その場面では、考えられる条件や判断した根拠を出し合いながら的確な実験ができる授業を重視する。

※小中一貫した取組については、実験や観察したことを、既習事項を関連付けて、根拠を明らかにして考察する指導に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				2年・期末		2年・学年末	
目標値				50%		60%	
実施後数値				55%		63%	

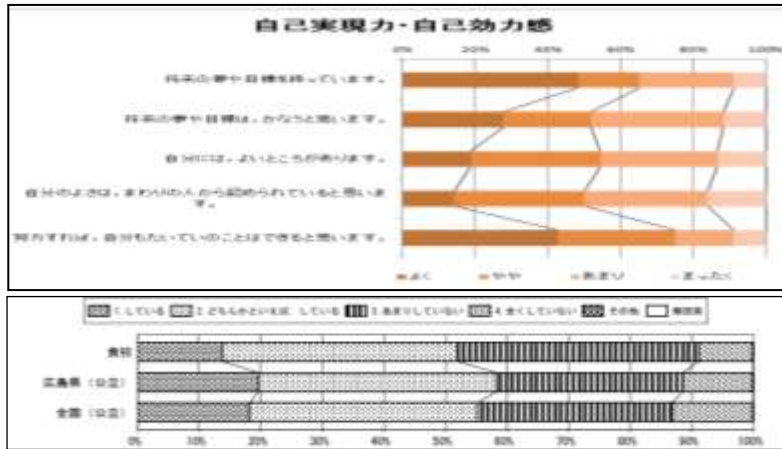
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				1年・期末		1年・学年末	
目標値				50%		60%	
実施後数値				53%		72%	

来年度に向けて

探求活動を取り入れた単元の開発および授業の実践を行ことより、結果から考察する力の向上は見られた。しかし、意見を検討し、改善する力(批判的思考力)と条件を制御する力の部分にはまだ課題がある。

2 質問紙調査 (「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査) (全国学力・学習状況調査：生徒質問紙調査)

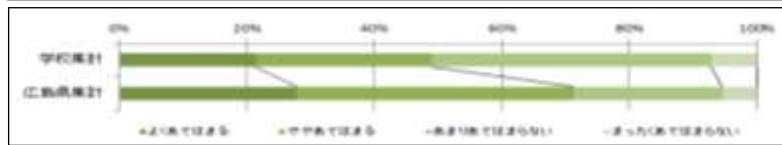
(1) 生活・学習



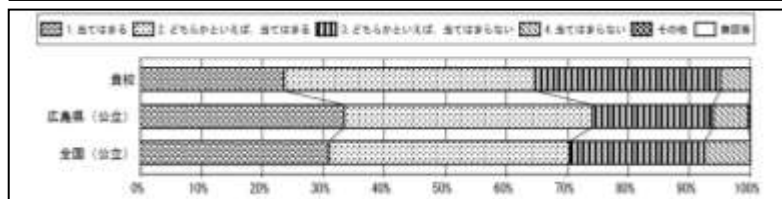
	生徒の回答についての課題 (現状値)	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの幅
基礎・基本	自分のよさは、まわりの人から認められていると思います。 (本校 50.0%, 県 64.2%)	学校行事や授業の成果物を掲示し、生徒の頑張りを認める場を設定する。また、写真や通信等を意図的に使い、生徒の頑張りが成長に気づかせる。	2	65%	アンケート	2月	66.3%	16.3%
全国	家で、学校の授業の予習・復習をしていますか。 (本校 51.9%, 県 58.3%, 全国 55.2%)	各教科の先生と連携し、授業の予習・復習にあたる家庭学習を設定する。また、本校が継続して取り組んでいる週末課題を受験対策のみにとどまらず、授業の予習・復習にあたる課題を設定する。	3	65%	アンケート	12月	57.1%	5.2%

(2) 教科

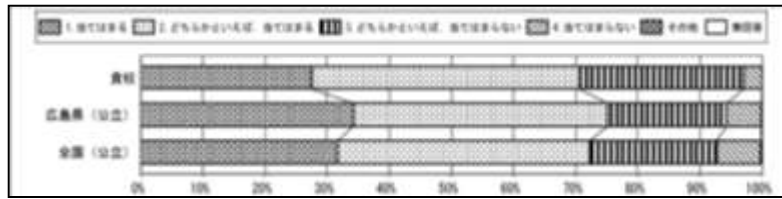
国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。



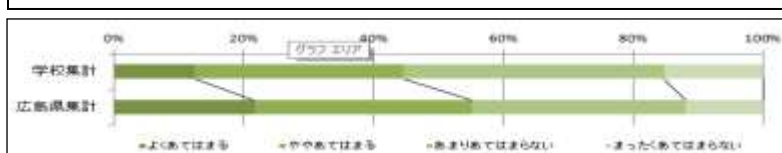
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。



理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。



英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。



	生徒の回答についての課題 (現状値)	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの幅
国語	基礎・基本 国語の授業では、目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしています。 (本校 49.1%, 県 71.3%)	単元を貫く言語活動として、複数の資料から必要な情報を目的に応じて読み取り、自分の考えをまとめる機会を意図的に仕組む。	2	55%	アンケート	2月	82.9%	33.8%
数学	基礎・基本 数学の授業では、解き方や考え方を話し合うときに理由をあげて説明しています。 (本校 37.5%, 県 57.6%)	発表をする際には、その考えの根拠をはっきりさせるとともに、小グループで意見を交換する場面を設定する。	2	50%	アンケート	2月	68.6%	31.1%
	全国 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか。 (本校 64.7%, 県 74.0%, 全国 70.4%)	なぜそうなるかの根拠を考え、発表させたり、理由を答える発問や問題を増やす。	3	70%	アンケート	2月	78.6%	13.9%
理科	基礎・基本 理科の授業では、自分の考えや予想をもとに観察や実験の計画を立てています。 (本校 52.7%, 県 64.8%)	観察や実験をする際には、ただ観察や実験をさせるだけではなく自分の考えや予想を考える機会を設けてから行うようにする。	2	65%	アンケート	2月	76.2%	23.5%
	全国 理科の授業で、観察や実験の結果をもとに考察していますか。 (本校 70.6%, 県 75.1%, 全国 72.3%)	実験や観察したことを、根拠を明らかにして考える場面の設定を行う。また、探求活動を通して、自分や他者の意見を振り返る活動を行っていく。	1	75%	アンケート	2月	91.8%	21.2%
英語	基礎・基本 英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、メモを取ったり、感想や意見などを話したり書いたりしています。 (本校 44.6%, 県 55.3%)	・リスニングや長文読解は、メモを取ったり、主語や動詞、時制などを意識しながら聞いたり読んだりするように、普段の授業の中から指導していく。 ・生徒に身近なテーマを与え、英語で自分の感想や意見を話したり書いたりする活動を増やしていく。	2	60%	アンケート	2月	66.7%	22.1%